

ジョゼフ・ティレルが1884年に発見した肉食恐竜の化石は、アメリカの古生物学者オズボーンによってアルバートサウルス・サルコファグス（肉食のアルバートのトカゲ）と名付けられました。これは、アルバートがカナダのひとつの州になった1905年のことでした。このことで、アルバート州は保存状態の良い化石が見つかる恐竜化石産地として有名になりました。1910年以降、恐竜化石を求めて海外から調査の手が入り、発掘した標本を自らの博物館へ持ち帰りました。その結果、アルバート州の貴重な恐竜化石は、遠く離れた地にばらばらに保管されることになってしまったのです。その後もしばらくは、州外に化

石が持ち去られてしまう状況が続きました。地域から発見される化石がばらばらになってしまふことは、化石の研究にとって、あまり良いことではありません。 「化石はアルバート州の財産である」という考え方を背景に、ロイヤルティレル博物館は州立の総合博物館から分離して新たに建設されました。また、アルバート州では化石を保護する法律をつくり、化石の保護と収集に力を入れ始めました。この博物館では、古い写真などから過去の発掘現場の詳しい位置を突き止め、当時の化石発掘の状況を再現するユニークな研究も行われています。

（文・写真／恐竜博物館・池上直樹）

恐竜時代への旅

第12話

アルバートの恐竜たち
— ロイヤルティレル博物館 —



DATA

州立恐竜公園
この荒涼とした土地から恐竜化石が数多く発見されている。世界遺産に登録され、ロイヤルティレル博物館によるフィールドワークが続けられている。

子育て日記



長男・泰志くん（6歳・右）
次男・颯汰くん（4歳・左）

ケンカも成長の証し!!

わが家はじいちゃん、パパ、ママ、長男・泰志と次男・颯汰の5人家族。この春から1年生の泰志はおっとりマイペースだけど弟に優しいお兄ちゃん。そして颯汰は甘え上手のやんちゃ坊主。全く違う性格の2人はよくケンカもしますが、これも成長の証だなあ〜と夫婦で頼もしくも感じています。ケンカをしても夜は仲良くくっついて眠っている姿を見て幸せを感じています。今は何をしても「パパ〜♡ママ〜♡」「ママ〜♡ママ〜♡」と頼られて、「また?」と思ってしまうのが本心ですが、甘えてくれるのもこの時期しかないかなと子育てを楽しんでいます。これからも兄弟仲良く出逢いを大切にして『イイ男』に成長してほしいと心から願っています。

（文・写真／吉村よし子お母さん・御船）

Book おすすめ 今月の本

ボクハ・ココニ・イマス 消失刑

梶尾 真治 著

実刑判決を受けた浅見克則は「懲役刑」と「消失刑」のどちらか選べと言われる。消失刑だったら、ある程度に自由が与えられるらしい。「小説宝石」連載を単行本化。



コロシ

三崎 亜記 著

200X年、掃除は日本固有のスポーツとして連綿と続きつつも、何らかの理由により統制下におかれていたどこにもない「王道」しかも「熱血」新世代のスポーツ小説!!



新刊書情報

4月は76冊の本が入りました

- 一般書（39冊）
 - 小説／神楽島 上・下 （内田 康夫 著）
 - 社会科学／答は現場にあり （大畑 誠也 著）
 - エッセイ／いちばんじゃなくていいんだね （松野 明美 著）
- 児童書（37冊）
 - 科学／ミクロの世界 （田中 敬一 著）
 - よみもの／すてきにへんな家 （タイガー立石 著）
 - よみもの／ぼくは恐竜造形家 （荒木 一成 著）

楽しく遊ぶ学ぶ せいかつの図鑑

小学館

子どもが苦手としている、また大人も教える自信がない、そんな「衣・食・住」の基本を収録。今どきつ子に欠落!生きる力の総復習図鑑。



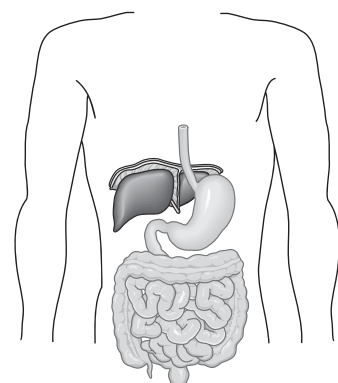
健康へのエント



肝臓は「沈黙の臓器」です。

肝臓は、アルコール分解、代謝、解毒など多くの機能が備わり、生活に欠かせない役割を果たしています。そんな大切な肝臓も上手に付き合わない脂肪肝や肝硬変といった重大な病気を引き起こします。脂肪肝は、糖分や脂質をとりすぎることで肝臓に中性脂肪がたまる病気です。原因は、アルコールの過剰摂取、食事の偏りが考えられます。そのままの日常生活をおくると、動脈硬化や糖尿病など、ほかの生活習慣病を引き起こす恐れもあります。さらにこの状態が続くと肝臓に多大な負担となり、脂肪肝から肝硬変へと変化し悪化の一途を辿ります。

肝硬変は、肝臓の過労死とも呼ばれ肝臓の正常な機能が失われます。そのため、肝臓がんを発症しやすい状態となります。脂肪肝や肝硬変など、肝臓の病気は自覚症状がほとんどありません。健診を受診して、早期に見つけることがとても大切です。本町の健診でも、アルコールが原因の脂肪肝の人が多くみられることも事実です。肝臓はとても我慢強い臓器で、最後まで頑張る「沈黙の臓器」とも言われています。普段からの生活態度を改めて、労わりながら長く上手に付き合ってください。



Point

- ◎生活習慣の心掛け
気に掛けてください生活態度を。アルコール量、食生活、運動時間を見直せば、元気な肝臓に戻ります。
- ◎お酒はほどほどに
週2日は休肝日を。飲みすぎないように心掛けましょう
- ◎年に一度は健診を
気づいてください肝臓の悲鳴を。健診や検査を受ける勇気と早めの対処が大切です。